

先導物質化学研究所講演会

水素結合性超分子材料—分子設計、作製、そして機能設計

講師：荒木 孝二 先生
(東京大学 生産技術研究所・教授)

主催：先導物質化学研究所
共催：九州大学分子システム科学センター
九州大学高分子機能創造リサーチコア



日時：平成24年11月20日(火)
15:00~16:20

場所：九州大学伊都キャンパス
CE40棟2F多目的セミナー室

参加費：無料

荒木孝二先生は東京大学 生産技術研究所の教授で、有機分子の持つ優れた特性や形状を適切に分子設計して組織集積化することで、機能性の高い新規な有機超分子材料の開発を行われている世界的に著名な先生です。先導物質化学研究所の非常勤講師として、ご来学される機会に講演会を企画いたしました。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

講演概要：有機材料は、nmスケールの有機分子が膨大な数集積したものであり、その特性や機能は、構成分子の性質だけでなく、集積構造にも大きく依存する。水素結合は、方向性があり比較的強い有機分子間の相互作用として、組織化された集積構造をつくり出す上で重要な相互作用となる。そこで、水素結合に基づく集積構造を階層的につくるための分子設計指針を検討し、それに基づく次元制御された水素結合性超分子材料の構造と機能について、二次元水素結合でできたナノシート・ゲルやカプセルを中心に述べる。また、水素結合を利用した有機固体発光材料の機能設計についても、集積構造変化を発光特性変化に変換するための機構など、有機固体発光スイッチの基礎と実際について紹介する。

世話人：九州大学先導物質化学研究所
高原 淳

Tel: 092-802-2517、E-mail: takahara@cstf.kyushu-u.ac.jp